# 環境への配慮

## 基本的な考え方

**ミウラグループは「熱・水・環境のベストパートナー」として、地球環境の保護に向けてグローバルな視点から積極的に取り組みを進めており、「ミウラグループ企業行動規範」においても環境問題に対する取り組みを明文化しています。**

**今後も、環境への配慮を重視した製品・サービスを開発・提供し、また、事業活動から生じる環境への影響を考え、環境負荷や環境リスクの低減に努めることで、地球環境保全に貢献する企業をめざします。**

### ミウラグループ環境方針

ミウラグループは、熱・水・環境のベストパートナーとして、企業活動を通じ、地球環境にやさしい社会の創造とサステナブルな社会の実現をめざします。

| 行動指針 | | |
|---|---|---|
| 1 | 環境側面から環境に与える影響をとらえ、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善を図ります。 | |
| 2 | 環境目的、目標は、社員一人ひとりが身近に参加でき、その総和が環境負荷低減につながる活動を優先的に取り上げます。 | |
| 3 | 環境側面に適用される環境関連法規およびミウラグループが同意するそのほかの要求事項を遵守し、汚染の防止に努め、生態系の維持及び自然との共生を図ります。 | |
| 4 | 事業活動から環境に与える影響のうち、次の項目を重点的に取り組みます。 | ① 脱炭素・省エネ・省資源及び再資源化を評価(LCA)し、環境の改善に寄与する商品開発と普及に努めます。 |
| | | ② カーボンニュートラルにむけた施策の遂行、エネルギーの有効利用を追求します。 |
| | | ③ 資源のリユース及びリサイクルを通じて廃棄物の抑制に努めます。 |
| | | ④ グリーン調達を継続し、有害物質含有の低減に努めます。 |
| | | ⑤「ミウラの森」森づくり活動を通じて森林保護に努めます。 |

## 環境マネジメント

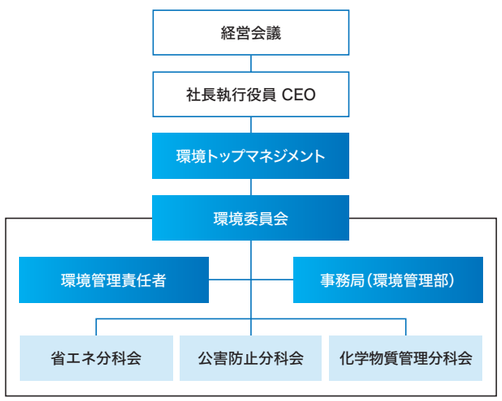
ミウラグループの環境推進体制は、環境トップマネジメントが環境委員会委員長を兼任する環境委員会で組織しています。環境トップマネジメントは、社長執行役員 CEOもしくは社長執行役員 CEOにより任命された執行役員が務め、ミウラグループの環境マネジメントシステム(EMS:Environmental Management System)に関するすべての責任と権限を有し、環境方針・計画の策定、計画進捗監視、重要事項の承認および経営会議への報告を行います。環境委員会は、環境委員会委員長のもと、各分科会により成り立ち、メンバーは製造グループをはじめとするすべての職種から構成されています。

また、環境委員会が主体となり、国内・海外ともに環境に関わる課題点を把握し、目標を設定し対応を進めています。

### EMSの構築と運用

国内では、三浦工業(支店を除く)および製造子会社を含む計5社をISO14001の認証対象とし、2007年2月に認証を取得しました。2021年10月、更新審査を受け、2022年1月にISO14001の規格に適合し、更新を継続しています。一方、海外では、主要なアジア圏の製造拠点である三浦工業(中国)有限公司、韓国ミウラ工業株式会社、台湾三浦工業株式会社の3現地法人について、認証され、更新しています。その他の製造拠点についても、EMSの構築と運用をめざします。

**環境推進体制図**



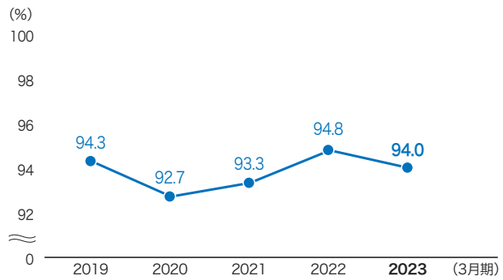

## 環境に対する配慮

### 事業者クラス分け評価制度で8年連続Sクラス

ミウラグループは、経済産業省・資源エネルギー庁が行う「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換期に関する法律」(省エネ法)の定期報告に基づく「事業者クラス分け評価制度」において、特定事業者として、2015年度の本制度開始時より8年連続で最高評価のSクラスと評価されています。「事業者クラス分け評価制度」では、定期報告を提出した事業者をエネルギー使用の合理化の状況の判断基準に照らし、S(優良事業者)・A(さらなる努力が期待される事業者)・B(停滞事業者)・C(注意を要する事業者)にクラス分けしています。今回、ミウラグループがSクラスと評価された理由は、「エネルギーの使用に関わる原単位」について、Sクラスの努力目標である「5年間平均原単位(エネルギー消費原単位※1)を1%/年以上低減」を達成したことによります。

※1 省エネ法に基づく原単位:エネルギー使用量(kL)/{国内売上収益(百万円)×建物延べ床面積(km²)}

**ミウラグループの5年間平均原単位の推移**




### 工場のエア漏れ改善で$CO_2$排出量を削減

(株)三浦マニファクチャリングでは、工場内の省エネ活動として、エア漏れ調査を実施しています。製造時におけるコンプレッサは、稼働率が高く電力使用量も多いため、エア漏れを撲滅することで電力使用量・$CO_2$排出量の削減に大きく貢献できます。エア漏れ調査は超音波カメラを活用しており、工場稼働時に診断ができるため操業に影響がなく、視覚的な画像とエア漏れ量を数値で計測できるため、改善時の省エネ効果を把握できるのが利点です。さらに、当社では社外でのエア漏れ調査も実施しており、カーボンニュートラルに取り組むお客様を支援しています。

### 自然との共生

**「ミウラの森」森づくり活動**

2022年11月、ミウラグループ従業員とその家族37名、そして愛媛県の皆様をはじめとする関係者で、「ミウラの森」での森づくり活動を実施しました。この活動の目的は、多くの方々に自然と親しみながら自然保護の大切さを学び、地球環境保全にも貢献していくことにあります。また、「ミウラの森」の森づくり活動は、「愛媛県企業の森づくり$CO_2$吸収認証制度」に基づき、整備した森林の効果が$CO_2$吸収量の数値で認証されています。2021年度の森づくり活動により吸収された$CO_2$は5.6 $tCO_2$/年と認証され、「令和4年度えひめ山の日の集い記念式典」で表彰されました。

「ミウラの森」で森づくり活動

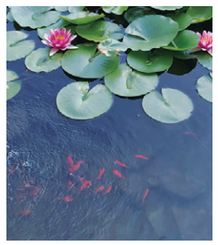
令和4年度
えひめ山の日の集い
記念式典

**ビオトープ※2で自然との共生をめざす**

ミウラグループでは、北条工場敷地内にビオトープを創設しています。そこでは、工場の生産や実験後の水を適正に処理し、利用しています。

※2 地域の野生の生きものたちが生息・生育する空間という意味のドイツ語

ミウラの敷地内にあるビオトープ


ビオトープに生息するメダカ